

# さくら天下祭実行委員会について

私共が住まう城下町佐倉には、かつて江戸日本橋の祭礼で威容を誇った山車や山車人形の多くが現存しております。明治の世を経て、日本橋の粋と歴史文化が「生きた形」で受け継がれている場所は、今やこの佐倉を置いて他にございません。かつて天下祭として親しまれた日本橋の文化遺産が、時を超えて佐倉の地に息づいているという歴史的事実。この稀有な縁(えにし)を次世代へと継承し、両地域の文化的交流を深めることは、現代に生きる私共の使命であると確信しております。

このたび、この確かな歴史的背景を礎とし、佐倉市と日本橋の「地域文化教育」を推進すべく、「さくら天下祭」を開催する運びとなりました。本祭典では、子どもたちが実際に山車を曳き、先人の想いを肌で感じる「実体験」を通じて、郷土への誇りと歴史への理解を深める貴重な機会を創出いたします。

さらに本祭典には、特別来賓として徳川宗家19代当主 徳川家広様、ならびに旧佐倉藩主ご子孫 堀田正典様に御臨席を賜ることとなりました。江戸の歴史を象徴する御両家をお迎えし、往時の賑わいを現代に再現するこの歴史絵巻は、まさに後世に語り継がれる記念すべき一日となることと存じます。

## 特別講演 徳川宗家と佐倉藩 — 411年の時を超えて交わる歴史



講師：徳川宗家 第19代当主 徳川家広 氏

佐倉藩は江戸時代、幕府の中樞を担う最高職「老中」を全国で最も多く輩出したことから、「老中の城」と称されました。歴代の藩主は徳川将軍家から絶大な信頼を寄せられた譜代大名であり、佐倉はまさに江戸の東方を守護する最重要拠点だったのでした。

本講演では、徳川宗家第19代当主・徳川家広氏を講師にお迎えします。宗家がこの佐倉の地を公式に訪れるのは、実に1615年以来、411年ぶりの歴史的瞬間となります。

なぜ佐倉は「老中の城」となり得たのか。徳川家と佐倉藩が共に歩んだ苦難と栄光の軌跡とは。そして、激動の現代において私たちが歴史から学ぶべき知恵とは何か。当主自らが紐解く、知られざる「徳川と佐倉」の粋。歴史の目撃者となるこの貴重な機会を、ぜひお見逃しなく。

日時：令和8年3月21日(土) 11:00～12:00  
 会場：国立歴史民俗博物館 講堂 料金：聴講無料  
 定員：200名(先着順・要事前申込)  
 申込方法：右記QRコードより専用フォームにてお申し込みください。



### さくら天下祭協賛企業



## さくら天下祭

最新の情報は特設サイト・Instagramをチェックしてください！



出展/出店者やイベントスケジュールは2026年1月時点の予定で変更されることがあります。最新の情報や雨天等の実施に関するお知らせは天下祭特設サイトにてご確認ください。

江戸から失われた祭礼文化  
桜咲く佐倉で復活！！

# さくらの天下祭



上横町 石橋能人形出し  
横町

檜物町 玉の井龍神能人形出し  
二番町 / 肴町

## — 特別講演 —

徳川宗家と佐倉藩  
411年の時を超えて交わる歴史

講師：徳川宗家 第19代当主 徳川家広氏

申込方法・詳細は裏面へ

令和8年

3月21日(土)

雨天顺延：翌22日(日)

10:00~17:00

佐倉城址公園  
自由広場



主催：さくら天下祭実行委員会  
 共催：佐倉市 / 佐倉藩アーカイブス  
 後援：千葉県 / 佐倉商工会議所 / 佐倉市観光協会 / 佐倉青年会議所  
 協力：麻賀多神社 / 広域高速ネット296 / 佐倉山車人形保存会  
 問合せ：さくら天下祭事務局 info@sakuratenkamatsuri.com



桜に染まるまち、佐倉2026